学校番号	1007

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	専攻漢文	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	漢文句法　演習ドリル　（旺文社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・漢文については、2 年次までそれほど時間が割かれていなかったので、訓読の基本から始めます。
・適切な問題集や参考書を使用します。
・授業に臨むにあたり、予習復習を欠かさず行うことを課します。
・提出物などは、その期限を守りましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】漢文に頻出する語句の意味や句法を理解し，漢文を読むために必要な語句の量を増し語彙を豊かにするとともに、漢文の世界の歴史的背景などを学ぶことも目標とする。
【思考力、判断力、表現力等】漢文の作品や文章について，その内容を的確に解釈することを基本として，その思想や背景を学び、自身の知見を広げたり深めたりすることを目標とする。
【学びに向かう力、人間性等】言葉によって自分の考えを形成したり新しい考えを生み出したりすること，言葉から様々なことを感じたり，感じたことを言葉にしたりすることで心を豊かにすること，言葉を通じて他者や社会と関わり自他の存在について理解を深めることを目標とする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「書くこと」,「読むこと」の各領域において，生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	訓読の基本、書き下し文のきまりを知り、適切に読む。 ［教材］未定	a：訓読の基本・書き下し文のきまりの習得 b[読]：訓読の基本・書き下し文のきまりに従って、正確に読み、書き下し文に改められる。 c：訓読の基本・書き下し文のきまりの習得のため、音読や演習を積極的に行える。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ノート ワークシート
	句法や助字を学ぶ。 ［教材］未定	a：句法や助字を学び、習得する。 b[読]：句法や助字を適切に解釈できる。 c：句法や助字の習得にあたり、読解演習を積極的に行える。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ノート ワークシート
	漢詩の基本を学び、その世界に触れる。 ［教材］未定	a：漢詩の基本を習得。 b[話/聞]：漢詩の世界に触れ、それが読まれた背景などを理解。 c：読解した漢詩以外の漢詩にも積極的に触れようとする。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ノート ワークシート
二学期	故事成語を読む。 ［教材］未定	a：故事成語の文章の内容を理解。 b[話/聞]：それぞれの故事成語の背景を知る。 c：日常に故事成語が活用できるようにする。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ノート ワークシート
	思想を読む。 ［教材］未定	a：思想家の文章を読み内容を理解。 b[話/聞]：それぞれの思想家の背景を知る。 c：思想家の考え方や言葉が現代にどう生かされているかを調べる。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ノート ワークシート
	歴史書を読む。 ［教材］未定	a：史記をはじめとする歴史書の文章を読み内容を理解。 b[話/聞]：それぞれの歴史書の背景を知る。 c：歴史書の中における言葉や出来事が現代にどう生かされているかを調べる。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ノート ワークシート
三学期	漢詩を読む ［教材］未定	a：唐詩を中心とした作品を読み内容を理解。 b[読]：唐詩を中心とした作品の内、気に入ったものを朗詠し、その世界を表現する。 c：気に入った詩人の歴史的背景などを調べる。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ノート ワークシート

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　４０　）時間

・書くこと　…　（　　）時間

・読むこと　…　（　３０　）時間